

令和元年度全国中学校体育大会 第49回全国中学校バスケットボール大会 審判研修会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	令和元年度全国中学校体育大会 第49回全国中学校バスケットボール大会						
●日程	令和元年8月22日 (木) ~ 令和元年8月25日 (日)						
●会場	和歌山ビッグホエール・和歌山ビッグウェーブ・和歌山県立体育館						
●講師	宇田川 貴生様 宇田津 浩史様 橋本 恵一様 小島 慶子様 尾形 美樹様 蒲 健一様 玉木 彰治様 福岡 敏徳様 御手洗 亮様 加藤 暁生様						
●スケジュール	令和元年8月22日 (木) 審判研修会・審判会議(会場:ホテルアパローム紀の国)						
	13:30 集合・受付 14:00 開講式・審判研修会(座学研修) テーマ「処置ミスゼロの3POメカニクスの実践」 ~ベーシックの確認と徹底、情報共有の重要性に着目して~						
	研修1 研修テーマ設定の意図・研修内容について(担当:福岡 敏徳様) 鹿児島IHの総括(研修会・本大会)・試合後の報告とPGCの重要性・行動指針 グループディスカッション⇒九州高校大会男子決勝戦の映像分析 3POメカニクスベーシック・クルーワーク・TOとの連携・プレゼン・ゲームコントロール等						
	研修2 3POメカニクスベーシックとプレーコーリングガイドライン (担当:小島 慶子様・尾形 美樹様) ローテーション時の意識・準備(T・C・L)、ローテーションのタイミング ファウル…マージナル・イリーガル・ノーファウルの意識、POC、ブロック・チャージ、TF・UF						
	研修3 処置ミスゼロにつながるIOTとTOとの連携(担当:宇田津 浩史様・橋本 恵一様) ゲーム中に起こるトラブル・予防と解決策(ショットクロック・フリースローシューター等) TOクルーとのPGC、コミュニケーション・アイコンタクト・コートインスペクション等						
	研修4 インテグリティと審判(担当:宇田川 貴生様) インテグリティの精神・インテグリティとガイドライン・インテグリティにおける審判の役割等						
	18:00 審判会議(割当発表・PGC・試合報告・審判員行動規範について) 19:00 懇親会(レセプション) 21:00 審判宿舎(コンフォートホテル和歌山)へ移動						
	令和元年8月23日 (金) ~ 令和元年8月25日 (日)						
	各自割当の時間にあわせて集合(9:30までに会場到着) (23日・24日) (25日) 9:30 試合開始 9:30 試合開始 17:30 試合終了 15:50 試合終了 各自審判宿舎へ移動 16:00 開講式・解散						
●担当試合	令和元年8月23日 (金) 16:10 ~ 女子予選リーグ 会場:和歌山ビッグホエール						
	対戦カード	帯広翔陽(北海道)			VS	盛岡白百合学園(岩手)	
	主審	CC	石川 淳也	U1	本部 和史氏	U2	河村 成晃氏
	講師／主任	2試合割当の方が多く、審判主任はなしでCCを中心にミーティングを行った。					
	講評	・PGCではメカニクス・ベーシックの確認とチーム(プレーヤー)の特徴の把握に時間をとって行った。メカニクスについては大きな崩れはなかった。 ・クロック管理も意識して、1回時間が流れたが、マジックタイムを持ち、対応もできた。 ・ゲームの最初に自分のプライマリ外で、ビッグインパクトも含め笛を入れた方が良かったケースがあった。途中から2番手・3番手で笛を入れたが、クルーとして特にゲームの入り方には課題が残った。 ・CCとしてクルーに声をかけていき、判定に関しては2Q以降ある程度修正はできたが、もっと早い段階で修正する必要があった。					
	自己の感想	・ゲームは大きなトラブルもなく終了しましたが、課題の残る内容だったと思います。特にクルーワークの難しさを痛感しました。2人のクルーの判定が不安定な時に2人の普段の力量を発揮できるように持っていけなかったことが大きな反省点です。今後はクルーにもっと具体的な方法をきちんと伝えることをしていきます。 ・自分のプライマリ外の笛の入れ方も難しさを感じました。オビアスなプレーに笛を入れましたが、クルーとしてゲームコントロールの観点から見ても課題が残りました。 ゲームの状況を知り、笛を入れる判断材料を増やす必要性を痛感しました。					

令和元年8月24日 (土) 12:10 ~ 男子決勝トーナメント1回戦会場:和歌山ビッグホール						
対戦カード	鹿南(熊本)		VS		実践学園(東京)	
主審	CC	石川 淳也	U1	桑本 大貴氏	U2	草田 裕基氏
講師/主任	小島 慶子様					
講評	・クルーワークがとても良く、メカニクスも崩れることなく3人の普段の取り組んでいることがゲームレベルにマッチした良い判定につながっていた。3人の共通認識があって3POの強みが出ていたことがとても良かった。 ・上記の内容も含めて、ゲームも両チームの持ち味が十分発揮されて、全体的には良いゲーム運営ができたのではないかな。 ・クルーとして、プライマリの理解を深めてほしい。ゲームレベルが上がると、そこから崩れる原因にもなるので、「誰がどこから何を吹いたのか」を追及して、オンザ					
自己の感想	・昨日の反省を生かし、クルーワークを意識してPGC・ゲーム中の具体的な声かけを行い、3人の力が発揮してトラブルなくゲームを終了することができたことは良かったと思います。 ・プライマリの理解については反省点もありました。自分の笛の数が少し多いと感じました。3人の笛の数も意識して、3人で正しい判定・ゲームコントロールにつなげる意識を高めていきたいと思います。 ・研修会、本大会を通じて3POメカニクスベーシックの理解をもっと深めないといけないと感じました。レベルの高いゲームほど、プライマリを意識して、プライマリが強いと良い判定・ゲームコントロールにつながると感じます。 ・ゲームコントロールの課題克服に向けて、どのカテゴリーのゲームでもベーシックの理解・徹底することが不可欠だと感じました。そのためにメカニクス・プライマリの理解を深め、オンザコートでしっかり表現できるように、これからも研鑽を積んでいきたいです。 ・最後になりましたが、派遣に関してご高配を賜り、貴重な経験をさせていただきましたことに、黒岡委員長をはじめ、大阪府協会審判委員会みなさまに感謝申し上げます。この貴重な経験を今後の審判活動に生かし、S級昇格を目指して審判活動に取り組んでいきます。本当にありがとうございました。					